

つくも山

122 回目土別まつり 心意気 伝える活力 神社祭

土別神社例大祭の御案内

宮 司 佐藤 元保

祭典委員長 内ヶ島 英一

総代会会長 小林 一男

令和二年度土別神社例大祭を次のとおり行います。

7月14日 宵宮祭 午後6時

7月15日 御例祭 午前8時

7月15日 御神幸式 神社発輿 午前9時

□ 渡御巡路図を8面に記してあります。

□ 本年はコロナ禍防止のため、御神幸式の各駐輿祭は、先太鼓を兼ねつくも太鼓の奉納後、宮司祝詞奏上、代表者玉串拝礼をもって、次の駐輿所へ向かいます。

□ 密接を避け、ご参拝は前後左右2層空けてお願いします。

7月15日 還御祭 午後4時

7月16日 後日祭並びにうぶこまつり 午前10時

□ 後日祭と併せ、赤ちゃんのうぶこまつりを行います。昨年4月以降から本年3月までに生まれて、まだ初宮参りをされていない赤ちゃんが該当します。

午前9時50分迄に社務所参集殿へおいで下さい。

※お祭後に、記念写真撮影・お守・守護でんでん太鼓・記念写真をお授けいたします。



令和2年度 士別神社祭典委員会



士別神社祭典委員長
内ヶ島 英一

栄誉あるご奉仕に際して

少雪の冬で雪解けが早く、桜の季節から緑深い夏を迎え、一年に一度の士別まつりが近づいてまいりました。開拓以来の伝統を誇る令和二回目の士別神社例大祭に際して、一生に一度の祭典委員長を仰せつかりました。

顧みますと内ヶ島家は、士別屯田入地の十年後、祖父母が岐阜団体移住で来道し士別市西士別に入植、父母は温根別北十一線に分家して農業に励んでいました。私は道立士別高校（今の翔雲高校）へ進学、遠路で通学不能のため西士別の本家伯父の家へ寄宿、朝夕飼育牛二十頭の世話をしながらバス通学の三年間を送りました。酪農学園大学獣医学科卒業、獣医師免許取得の昭和四十五年下川町農業共済組合家畜診療所の獣医師として勤務。五十六年乞われて士別市農業共済組合家畜診療所に転勤、ふる里士別に居を移して丁度四十年になります。

東京五輪開催予定の年、思いがけず新型コロナ禍で医療従事者奮闘の報道に接し、獣医師時代に昼夜を問わず、吹雪や零下三十度前後の厳寒期でも、電話が鳴れば休日返上で酪農家の宝である家畜診療に往診したことが思い起されます。平成十年上川北農業共済組合に地域拡大、診療所長参事を拝命し二十年定年退職、引続き北海道名寄保健所特別非常勤職として今日に至っております。

この間、地元あけぼの自治会会長を経て、士別市自治会連合会会長として市民の皆さまにご協力を賜っております。二十五年に北海道産業界献賞受賞らしい今回の祭典委員長拝命は、家門の栄誉と謹んでお受けし、微力乍ら精一杯ご奉仕申し上げる覚悟でございます。

幸い経験豊かな役員の方々に恵まれ力強い限りで、農村地区は西士別学田地区と承りご神縁を感じております。この上は関係機関団体、市民皆々様の格別のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

京都八坂神社の祇園祭に象徴される夏祭は、疫病を鎮めるため始まったとお聞きしました。どうか士別神社祭でコロナ禍を吹き払い、秋の豊穡と生業繁栄市民の幸せ、士別市の躍動を祈念しつつ、新型コロナウイルス感染のリスクを避け安全第一に祭典を取り進めてまいります。

現下の状況に鑑み市民の皆さまのご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。

祭典副委員長

- | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  |  |
| 金子博之
(接待) | 穴田俊昭
(奉納行事) | 喜多武彦
(設備) | 片庭隆暁
(車輛) | 奈良康弘
(渡御) | 井上久嗣
(総務) |
|  |  |  |  |  |  |
| 佐藤静男
(広報記録) | 多田光平
(神社) | 安藤英治
(養物) | 松下義春
(稚児) | 上北利直
(子供神輿) | 阿部 昭
(交通指導・警備) |

祭典篤志奉納について

故郷士別の開拓以来、五穀豊穡と商売繁盛、さらには市民の安全、市内平安を祈願する伝統ある士別神社祭典も、本年度122回目を迎えます。

例年ですと、各企業様他の篤志奉納金等のご寄進により、厳かにかつ賑々しく斎行いたして参りましたが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大の状況下、例大祭における各種行事の大幅な見直しを行い、事業費の軽減を図ることといたしました。このことにより、例年皆様方にご協力をいただいております。篤志奉納金等につきましては、ご寄進の依頼は行わず、例大祭の規模を縮小し粛々と斎行することといたします。

なお、一部企業様他のご好意により、篤志奉納がありましたことに、厚く感謝申し上げます。本来ですと、広報紙「つくも山」にご芳名を掲載いたすところですが、誠に勝手とは存じますが、割愛させていただきますので、ご理解を賜りたいと存じます。

このほか、各自治会様からも「祭典奉納金」のご協力をいただいております。
改めて、皆様の温かいご支援に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

車輛奉仕芳名 (順不同・敬称略)

- (有) 小 酒 井 塗 装
- 協業組合北部ガスセンター
- (運) 士別運送株式会社
- (株) 小 泉 鉄 工
- 共 工 電 氣 工 事 株
- (株) 士別グランドホテル
- (有) 佐々木車輛工業所
- 北海道ブロック住宅株
- 道北自動車学校株
- フジヤ住設工業株

お神輿さまを

心をこめて

お迎え

しましよう



☆ ご神幸式は、常に郷土の平和をお守り下さる氏神様が、年に一度市内を巡り皆さんの生活をご覧になると共に、氏子が身近に神様をお迎えし、感謝の祈りを捧げるために行われます。

☆ 先ぶれの広報車が通って間もなく、お神輿さまが参りますので、家族そろって道端に出てお迎えいたしましょう。家族の平和な姿こそが、もつとも神さまがお喜びになります。

☆ お賽銭、お供え物、お米などは、行列の前後から来る賽物車に納められるか、近くの駐輿所にお供え下さい。お名前をつけて下されば幸いです。

士別市郷土芸能 つくも太鼓



今年の祭典御神幸、つくも太鼓は広報車に続き先太鼓を兼ねての奉納となります。昭和51年初奉納いらい45回目、これまでは最後尾を締める形での奉納でした。

士別市郷土芸能つくも太鼓は、昭和49年10月に『太鼓の響き』によって創造しこれを末永く保存することにより、豊かな精神と文化を養い、もって地域社会の発展に寄与する”ことを目的に結成されています。

仕事が終わった夜の練習が主で、音がうるさいとの苦情もあり、初期の頃は練習場にも苦労した由で、士別神社の旧弓道場もその一つでした。曲目も九十九太鼓からはじまって、屯田太鼓、盆踊りの士別盆太鼓、天塩川太鼓、結婚式や祝典の祝い太鼓と増加し、市外も含め年間30回以上のイベント等に出演が広がりました。

昭和59年元旦午前0時過ぎから新年初打ち、平成3年からは新築された野外舞台で、初詣恒例の行事として今春で37回目、参拝者にもお馴染みとなっています。

初代佐藤勲会長、2代竹中博氏を経て、小野田勝・近藤浩治・外田政利・岸梅健治の各氏、現在は足利俊輔氏が会長をつとめています。

創立以来47年目、創立会員は全員卒業、次々と若い会員に引継がれています。

上の写真は平成7年元旦、野外舞台における極寒降雪の中、新春打初め

撮影／佐藤三枝子

祭典 新型コロナ禍対応ガイドライン

本年度祭典委員会は新型コロナ感染下、次の通り対応ガイドラインを作成しました。

①レベル1 現時点での対応

○篤志募財は不可能な状況下、自治会奉納金と正副委員長奉納金、自主的篤志金により経費を賄う。

○各担当、係にて三密を避けて縮少策で祭典を斎行する。

○御神幸式は自動車渡御とし、20ヶ所で駐輿祭を斎行するが、車両は例年の3分の1以下の13台とする。担ぎ神輿中学生の白丁、子供みこし、稚児、国道の音楽行進パレード、奉納行事の体育文化関係行事、市民センターお祭広場、宵宮フェスティバル等も中止、大國舞、舞姫等も中止し、渡御奉仕人員も大巾に削減する。

②レベル2 士別及び近隣市町村感染者が出た場合

○正副委員長会議を緊急招集し、判断する

③レベル3 祭典関係役員宮司及び家族に感染者が発生、市内にクラスターが発生した場合

○関係者で祭儀のみ斎行する。
以上の通りですのでご理解ご協力をお願いします。

令和2年度士別神社祭典委員会

※疑問の点は祭典事務所（Tel.23-2243）へお問合せのほどお願い申し上げます。

- 災難除厄祓い随時斎行（先ずご連絡下さい）
- 結婚式は神前で！（出張奉式も同様奉仕）
- 新築増改築の時は、地鎮祭、上棟祭を！
- 引越しの場合は、新宅祭、家移清祓式を！
- 自動車、バイク、トラクター、重機、機械を入れた時は安全祈願入魂式を（お守呈）
- （お祓い、ご祈禱、神事諸祭事信仰生活上のご相談は電話またはFAXでお気軽にどうぞ）

士別神社 FT AX L223-225433

122回土別まつり 40年ぶり全行程自動車渡御



明治32年7月、28県人からなる北海道最後、土別屯田兵勢揃いの13日夜半、百番目の家が焼け出される思いがけぬ災難、広がる動揺を静めようと名越源五郎中隊長は天照皇大神の木標を祀って、入隊式を斎行しました。

土別開拓の礎、土別神社にて
創祀の日、7月15日は土別まつりとして伝えられ、今年は一・二二回目を迎えます。
当番区は学田と西土別を含む南地区。一生に一度奉仕の祭典委員長にはあけぼの自治会の内ヶ島英一氏、獣医師・土別市自治会連合会会長が推薦されました。あけぼの自治

昭和34年大通6丁目付近

会からの委員長は初めてです。4月20日正副委員長就任奉告祭を斎行、祭典事務所は社務所参集殿に特設、各役員も決まりました。

本年は「立皇嗣の礼」の佳節ですが、新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言公示、延期されており、東京五輪も明年に先送りされました。

北海道は特定警戒区域に指定され、土別地方でも合宿の里に象徴されるハーフマラソンや天塩川花火大会などイベント行事は軒並中止の状況です。

祭典委員会では感染リスクを避け、安全第一に祭典を斎行すべく準備を進めています。

正副委員長係長会議



▲撮影奉納／加藤幸男氏

齊藤昌淳歌碑建立20年祭

前号記載の通り120周年奉祝行事の一環として10月28日行われましたが、当日参集殿で献ぜられた短歌俳句川柳は次の通りです。

天塩川流れにそいつつ河口までたどりて求める父の残像
右の写真 札幌市齊藤昌淳大人 長女齊藤道子
ももんがの棲むてふつくも山の森屯田の里見てるや今も
(歌碑建立委員長) 松岡 岳桃
荷馬車にて手綱引く父はしゃぐ子らつくも山はお花見日和
朝陽を受けて彩づく社の樹百二十年の歴史伝えむ
土別短歌会 藤原 幸子
九十九山に笑顔弾ける新成人追っかけ父母らシャッター
土別短歌会 寺下 栄子
押せり
文集たよりの会 安達 佳充
秋灯の昇段めざし蕎麦検定 大崎 庄一
石段を秋風登る九十九山 いぶき吟社 山田 厚子
鎮魂の歌碑穏やかや天高し いぶき吟社 今野かつ子
参道の樹々の間合いに秋日差し いぶき吟社 竹内 幸花
木漏れ日を揺らして葡萄挽ぎにけり いぶき吟社 今井 秀春
りんとしたつくも山秋色の風 いぶき吟社 鈴木 初枝
頬杖のうつろを覚ます稲光 いぶき吟社 藤田 美鈴
終戦忌御霊眠るや未だ異国 多寄俳句教室 佐々木武雄
凛と座す令和の紅葉つくも山 多寄俳句教室 佐藤 恵美
天塩川なみだ色して昌淳忌 多寄俳句教室 木南 克
神域の森鎮まれる神の留守 遠き嶺鳥居に収め秋の杜 佐藤 緑峰
大御神鎮座百二十年九十九山 川柳たんぽぽ 宮本はるお
社在り屯田魂宿る山 川柳たんぽぽ 梅津 純男
川柳たんぽぽ 谷口 弘

お神輿渡御 御神幸式

昭和12年特製大神輿と行列用具を奉製、神輿渡御御神幸式が始まりました。兵隊検査甲種合格の青年が掛声勇ましく神社発輿、全行程を担ぎ、御旗ご神宝を持ち捧げ神官町長正副委員長は乗馬、役員総代区长稚児は徒走行列を組み、市街地を一巡しました。

終戦の昭和20年は北海道空襲、終日空襲警報は解除されず、全員待機するもお神輿は社殿前に引据え中止。戦禍の無い土別は翌年には市街地渡御が復活しました。

昭和23年土別開基・神社御創祀50年記念に際し、祭典委員会は自動車で土別全町渡御を計画。委員長は歴代最年少39才の犬伏繁一氏、天塩倉庫社長、破天荒の立案者は総務係長森実易逸氏、土別窯業(株)社長、後の土別商工会議所会頭。お神輿は担ぐものというのが当時の常識、自動車にお神輿を乗せて巡る新様式です。当然反対も強く一年限りの特例という事で強行されました。土別中のトラック10台余を総動員、美しく装飾してお

神輿はじめ御神宝を配置、祭員伶人町長委員長以下役員総代、旭川獅子舞、お稚児さんが分乗、夜8時近く迄かつて初の自動車渡御が実現。敗戦の復興期、今は5.5%に減少の農家は80%を占めた時代農村地区の奉迎ぶりは熱烈で期せずして萬歳の声が上がった地区もあり大成功。以降農村地区は4地区に分け昭和47年迄継続されました。馬車やリヤカー全盛の当時、自動車は珍しく正に大英断でした。

「道北の神風みこし」とか土別独特といわれた自動車渡御でしたが、上川管内はじめ次第に広がり、交通事情も変り一般的様式となりました。

昭和48年大通1丁目各種サークル青年が待機、中心街約1kmをハッピー姿で大神輿を担ぎ、供奉員は車から降り徒歩行列での渡御が実現。25年ぶりワッショイの掛声が復活。50年からは技能士会青年部が奉仕。農村と周辺地区は自動車渡御、中心街は担ぎ神輿という併用型の新様式が編み出

されました。

平成元年若人による神輿をあげる会土別小僧が発足、道内みこし会も応援にかけつけ平成2年御大典記念から江戸前担ぎとなり、百周年事業で関東型全天候型大神輿を奉製姉妹都市豪州ゴルフバンマルワリー市高校生も来市参加更に賑々しさを増しています。

◇ 神様と共に歩む——ご神幸です。お神輿の形は約千年前平安時代に出来上ったといわれます。ご神幸の心は不変ですが、牛馬で曳いたり人が担いだり、時代や状況で形は変化してきました。

◇ 本年は予期せぬコロナ禍担ぎ神輿による御神幸は、全国的に中止を余儀なくされています。当社祭典では担ぎ神輿を休んだ昭和55年以来40年ぶりに全行程自動車渡御を企画。広報車郷土芸能つくも太鼓を先頭に、救護車迄13台の車両で中心街は初の東1条通を渡御全20ヶ所を駐輿祭、安全第一に土別まつり成功に向け協議が重ねられています(公)。



まごころ

- ◆北音ミュージック岩白かつ子氏は百二十周年を記念、篤志金と自ら作詩作曲「九十九山の灯り」明江三奈さんが唄うCDを奉納されました。
- ◆新春に際し京都市相原満・札幌市瓜生和幸・函館市佐藤実・新座市佐藤允克・樺原市佐藤隆士・加古川市佐藤慈宏の各氏より毎年篤志奉献。
- ◆中土別坪田公義氏は餅米一俵・野口芳江氏は玄米一俵金井恵美子氏は新年はじめ祭典毎に鏡餅小餅他継続奉献。
- ◆九十九山を守る会川副春夫会長は2月2日参集殿雪降り、平成27年から土別翔雲高野球部渡邊雄介先生と部員協



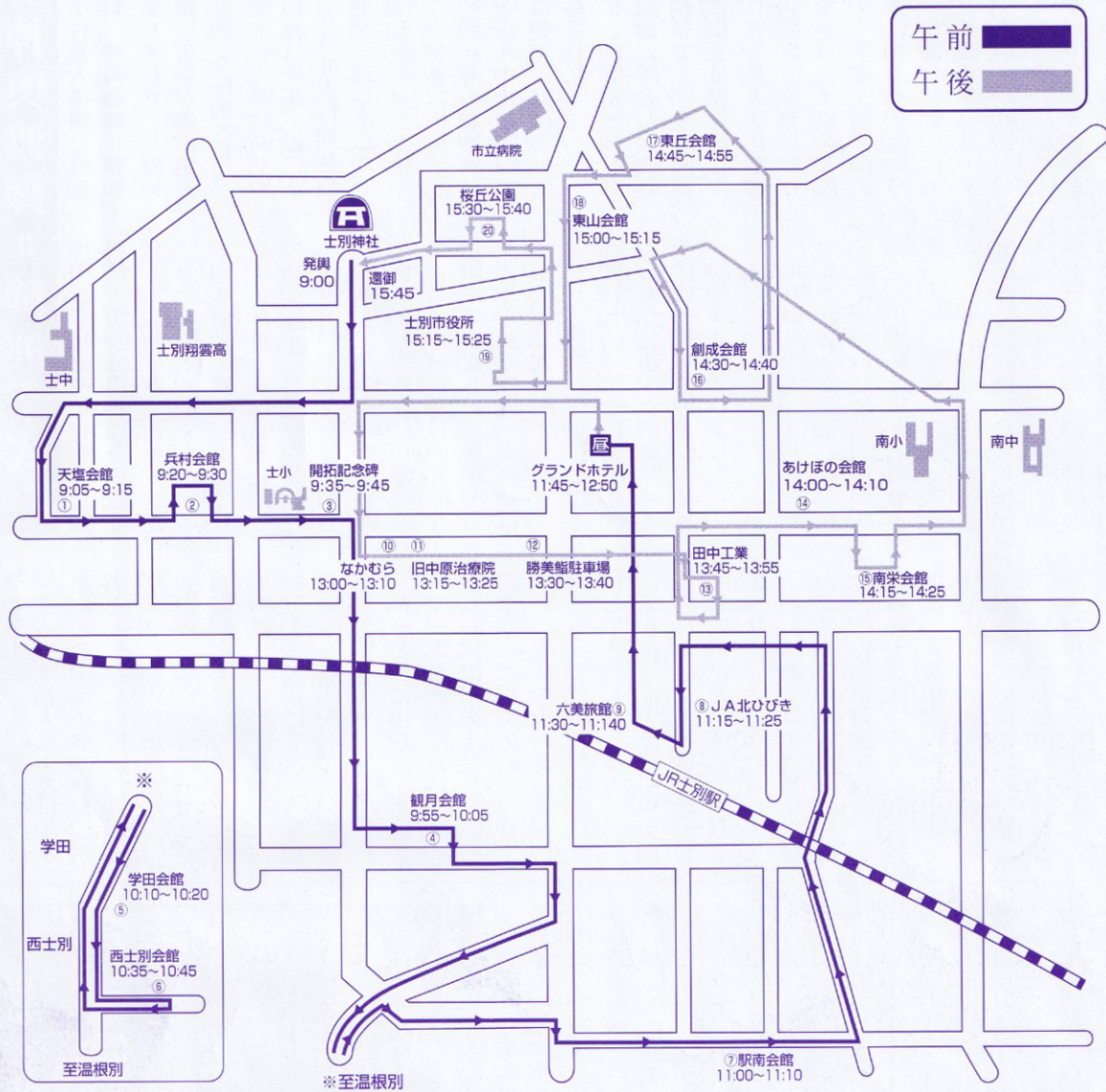
力若い力を発揮。守る会は4月20日雪囲い撤去境内清掃を継続ご奉仕(写真)。

◆加藤幸男氏は各祭典行事撮示用写真78枚、栗野薫氏は17枚を継続奉納。参集殿に展示しています。

◆九十九山の桜は5月7日咲初め12日満開となりました。境観光協会桜まつりは中止。境内聖徳神社祭は5月16・17両日祭儀のみ斎行。ひふみ会金井恵美子会長はじめ5人は14日同社清掃ご奉仕。17日例祭後野外舞台で「九十九山桜音頭」と「ありがとう」を奉納されました(写真)。

右記はじめ数々の奉献奉仕を賜り深謝申し上げます。

令和2年度 士別神社例大祭御神幸式巡路図



つくも山 第198号
令和2年7月1日
士別神社祭典事務所
士別神社社務所
〒095-0008 北海道士別市九十九山
TEL 23-2243・FAX 22-2553
祭典広報係長 北村 浩史
祭典総務係長 都 研司
印刷 志村印刷株式会社



- ◎渡御にあたって事故防止のため、関係者の指示にご協力をお願いいたします。
- ◎ご参拝は密接を避け、前後左右2メートル空けてお願いします。
- ◎玉串奉奠については、自治会代表者にてお願いします。

■表紙写真/平成元年
菅原武夫氏

士別神社ホームページアドレス <http://shibetsu-jinja.jp/>